

第3回ジフェニルアルシン酸に係る健康影響等についての 臨床検討会

日時： 7月24日（木） 16:00～18:00

場所： 東京桜田ビル3階（305会議室）

議 事 次 第

- 1 事業の進捗状況について
 - （1）申請の受付状況について
 - （2）検体の分析状況について
- 2 居住要件等判断困難事例等について
- 3 健康影響に関する情報提供のあり方について
- 4 報告事項について
 - （1）今後の健康診査の実施体制について
 - （2）全国調査、環境調査の状況等
- 5 その他

ジフェニルアルシン酸に係る健康影響等についての
臨床検討会委員名簿（敬称略）

座長 櫻井 治彦
（中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター
所長）

委員 石井 一弘
（筑波大学医学専門学臨床医学系神経内科講師）

柴田 康行
（独立行政法人国立環境研究所化学環境研究領域
動態化学研究室長）

土田 昌宏
（茨城県立こども病院副院長）

徳留 信寛
（名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部予防・社会
医学専攻健康科学・環境生態学（健康増進・予防医
学）教授）

山木戸 道郎
（国家公務員共済組合連合会呉共済病院院長）

神栖町ジフェニルアルシン酸健康被害受付集計表

平成15年 7月23日現在

茨城県保健福祉部保健予防課

(単位: 世帯, 人)

区分 時間 受付数	手帳交付者	井戸水からジフェニルアルシン酸が 検出された者 A	総ヒ素 0.01 超過でA以外 の者 B	総ヒ素基準値 以下 (不検出 を含む) C	井戸水検査未 実施 D	合計 A+B+C+D	累計	採水件数
								(累計)
6/30 (月)	世帯数	10	8			8	18	
	人数	30	16			16	46	
7/1 (火)	世帯数		7			7	25	
	人数		17			17	63	
7/2 (水)	世帯数	3	3			6	31	
	人数	10	4			14	77	
7/3 (木)	世帯数		4		1	5	36	13
	人数		9		4	13	90	(13)
7/4 (金)	世帯数		2			2	38	
	人数		8			8	98	
7/7 (月)	世帯数		2			2	40	5
	人数		7			7	105	(18)
7/8 (火)	世帯数	1	2			3	43	4
	人数	2	5			7	112	(22)
7/9 (水)	世帯数		2		1	3	46	2
	人数		6		1	7	119	(24)
7/10 (木)	世帯数	1	2			3	49	2
	人数	6	3			9	128	(26)
7/11 (金)	世帯数		1			1	50	
	人数		6			6	134	
7/12 (土)	世帯数	8				8	58	
	人数	22				22	156	
7/14 (月)	世帯数		1			1	59	
	人数		1			1	157	
7/15 (火)	世帯数				1	1	60	2
	人数				4	4	161	(28)
7/16 (水)	世帯数		1			1	61	
	人数		1			1	162	
7/17 (木)	世帯数		1			1	62	1
	人数		1			1	163	(29)
7/18 (金)	世帯数					0	62	
	人数					0	163	
7/22 (火)	世帯数					0	62	4
	人数					0	163	(33)
7/23 (水)	世帯数					0	62	
	人数					0	163	

申請井戸水の測定状況 (国立環境研究所)

(平成15年7月23日)

	検体ID	DPAA検出	DPAA (ppm)
1	1001	—	
2	1002	—	
3	1004	—	
4	2001	—	
5	2004	—	
6	2005	—	
7	2006	—	
8	2007	—	
9	2008	—	
10	4003	—	
11	5001	—	
12	5003	+	0.0024
13	5004	—	
14	1007	—	
15	2002	—	
16	5006	—	
17	5008	—	
18	6002	—	
19	1008	—	
20	1009	—	
21	5005	—	
22	5007	—	
23	2009	—	
24	2010	—	
25	2011	—	
26	4006	—	
27	1011	—	
28	1012	—	
29	4013	+	0.072
30	1013	—	
31	1014	—	
32	4012	—	
33	4014	—	

健康診査実施体制について

1 対象者

「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業要綱」に基づく医療手帳交付者

2 実施機関

成人 : 筑波大学附属病院

小児 : 茨城県立こども病院

3 実施頻度

健康管理調査対象者 : 1月 ～ 数ヶ月に1回

医療手帳対象者 : 年 1 回

4 健康診査項目 : 別添のとおり

5 交通手段 : 県による送迎

6 その他

健康診査実施医療機関が受診者宅から遠距離となるため、筑波大学神経内科医師が、地元病院に受診日を開設し、定期診察に対応する体制を整備した。

(別添)

健康管理調査対象者に対する健康診査について

- 対 象：健康管理調査対象者
- 実施主体：茨城県
- 実施時期：1月～数か月に1回
- 実施機関：筑波大学病院、県立こども病院、県立こども福祉医療センター
- 診査内容：

(成人)

- ① 神経内科
- ② 耳鼻咽喉科
- ③ ジフェニルアルシン酸検査
- ④ 脳血流シンチ（6か月に1回）
- ⑤ MRI（1年に1回）
- ⑥ 脳波（6か月に1回）

(小児)

- ① 神経内科
- ② 小児神経発達検査
- ③ ジフェニルアルシン酸検査（キレート剤投与期間中2週間に1回）
- ④ 脳血流シンチ（1年に1回）
- ⑤ MRI（1年に1回）
- ⑥ 脳波（1年に1回）
- ① 甲状腺機能検査（初回のみ）（TSH、Free-T₃、Free-T₄）

医療手帳対象者に対する健康診査について

- 対 象：医療手帳対象者
- 実施主体：茨城県
- 実施時期：10～12月
- 実施機関：筑波大学病院、県立こども病院、県立こども福祉医療センター
- 診査内容：
 - ① 問診
 - ② 神経内科診察
 - ③ ジフェニルアルシン酸検査（毛髪、爪）
 - ④ 脳血流シンチ（初回のみ全員、以後有所見者のみ）

昭和48年「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査について

旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図るための基礎資料を得ることを目的として、昭和48年に行われた「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査を行う。

1. 内容

(1) 各省庁関連

7月17日に事務次官等会議において協力を依頼する旨を発言するとともに、全省庁に対して同日事務次官通知を発送。

(2) 都道府県関連

都道府県及び政令指定都市に対して、6月24日に環境省から調査の説明会を開催し、6月27日に環境保健部長より依頼文書を発送。

(3) アメリカ・国内資料関連

米国国立公文書館に存在する GHQ 資料（米国調査：6月15日～21日）及び旧日本軍の資料を整理中。

2. 今後の予定

本調査は、終戦時における毒ガス弾等の保有・廃棄及び戦後における発見・被災等について調査し、8月29日までに都道府県等から報告を受け、秋ごろに結果を公表する予定。

(参考)

- (1) 近年、神奈川県寒川町、平塚市において作業員が旧軍の毒ガスに被災し、更に、茨城県神栖町でも旧軍の毒ガスに起因すると考えられる事案が発生したことを受けて「さがみ縦貫道路周辺における危険物等に関する関係省庁連絡会議」を開催。
- (2) 6月6日には「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策について」が閣議了解され、その中で、「神奈川県平塚市及び寒川町における調査を含め、昭和48年に行なわれた『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップを実施するものとする。」ことが了解された。

茨城県神栖町における汚染源調査について

1. 調査の進捗状況

茨城県神栖町木崎地区にある、ジフェニルアルシン酸により汚染されている飲用井戸（いわゆる井戸 A）について、井戸近傍に汚染源があるとの仮定より、井戸の周囲 10 m 四方を調査範囲と設定し、以下の調査を実施した。

5月29日 地表からの物理探査実施（レーダー、磁気）

6月13日 ボーリング調査開始

7月 4日 ボーリング調査終了

※ ボーリング調査は、2.5 m メッシュで、深さ 15 m まで実施。

1 m ごとに、垂直磁気探査、土壌採取を行い、ボーリング 25 本

のうち 10 本を水位観測孔として地下水の状況を調査した。

（別紙「ボーリング位置図」を参照）

現在、ボーリング調査によって採取された、土壌や地下水中の総ヒ素量及びジフェニルアルシン酸について、国立環境研究所で分析中。

この分析結果に基づき、本汚染源調査結果をとりまとめる予定。

2. 今後の予定

7月25日 さがみ縦貫道路周辺地域等化学物質調査検討会（第4回）

- ・ 汚染源調査結果の分析
- ・ 今後の調査方針検討

7月29日 汚染源調査結果説明会（茨城県神栖町）

8月以降 汚染源の掘削もしくは追加の汚染源調査

（別添 茨城県神栖町における有機ヒ素化合物に係る環境汚染及び健康被害にかかる緊急措置）

ボーリング位置図

別紙

